

Radio On The Street  
西谷文和

2025.8.15  
第26号



発行責任者：西谷文和

連絡先：〒564-0041 大阪府吹田市泉町1-22-33

TEL 06-6170-4757

メール otayori@radiostreet.net

このニュースは募金いただいた方、講演会に参加された方に郵送しています。今後も年に4回程度発行します。

### ●ラジオの聞き方

スマホやパソコンで「路上のラジオ」と検索してください。YouTube で聞けます。チャンネル登録していただきますと、毎回お知らせが来るので便利です。

# 参政党・神谷宗幣代表の正体を暴く

## 労組の集会「旗びらき」で出会う

「彼」と出会ったのは2011年1月、吹田市職員労働組合の集会だった。大幅賃上げ！春闘勝利！などのスローガンを掲げ、多くの労組はお正月に「旗びらき」を開催する。04年まで吹田市の職員で、この労組の一員だった私は、フリーに転職後もできる限り「旗びらき」に参加していたのだった。

立食形式の来賓テーブルには共産党と無所属市民派の議員が並んでいたが、その中に彼がいた。「神谷です」「西谷です」名刺交換をしつつ、彼は保守系の無所属議員

で、3ヶ月後の市議選挙で2期目を目指すという。いわゆる「左翼系」の議員しか来ない労組の集会に「何でも見てやろう、聞いてやろう」と参加した彼を、「若いのに、なかなか見どころある人物だな」と正直、感心していた。

## 橋下知事とケンカ別れしていた

話し込んでいくと「僕は維新が嫌いです」と言う。「俺も大嫌いや」と話が弾み、「なぜ維新が嫌いなのか？」「橋下徹さんと維新を作ったのですが、橋下さんのやり方に反発して嫌いになりました。維新という名前は僕が考えたんですよ」と言う。国の防衛や国家観は全く右と左だったが、反維新という点では一致したので、今後も情報交換していこうということになった。

## 「アラブの春」取材直後に

この年の2月、チュニジアに端を発した「アラブの春」がエジプトやリビア、湾岸諸国に飛び火して独裁政権が次々と倒されていた。バーレーンの大規模デモを取

材して帰国した私の事務所を、彼が訪ねてきた。「中東の話を聞きたい」。彼のリクエストに応えて、過去の動画を見せながら話していると、「ぜひ僕の事務所でも講演してください」となった。

## インターン学生が集っていた

その直後に3・11、東日本大震災が起きた。未曾有の大災害と福島原発事故。反原発を貫く小出さんの話を広げようと、DVDを制作している時、やはり彼がやって来て、講演会のテーマを「中東問題と原発問題」に変更することにした。吹田市千里山の「神谷宗幣後援会事務所」で、私は主に原発事故について語った。この時、彼の事務所には数名のインターン学生がいた。京都、同志社、立命館などの法学部から、研修にやって来た20歳そこそこの学生たちに原発とメディアの関係、原子力ムラと戦争ムラなどについてレクチャーした。「知らなかった、勉強になりました」「やはり政治を変えなくちゃ」と学生さんたちは目を輝かせて話を聞いてくれた。彼らのうち何名かは参政党に入党して、



極右のアベ信者なので、この時は自民党から出馬

どこかの候補になつてゐるのだらう。私は神谷の部下を育ててしまつたのだ(苦笑)。思えばこの頃から神谷宗幣という政治家は、上手に「組織づくり」をしていたのだ。

## 吹田市長選に出馬と言つてたのに

11年4月の統一地方選挙で自民党から維新に鞍替えした井上哲也府議が市長に当選した。同じ日の選挙で吹田市議(2期目)に当選した彼は、私の事務所にやって来て、「井上市長では吹田市はダメになる。維新の民営化、新自由主義に反対、そして原発にも反対して、4年後には市長に挑戦する」

と言つた。憲法観や家族観は真反対だが、まずは維新の市長を変えなければならぬ。吹田市長選挙に出るなら頑張つてほしい、と伝えた。(実際に井上市長は政治とカネ問題で次は落選)

## アベ首相と一緒には東大阪で出馬

この頃、民主党は菅直人から野田佳彦に交代。消費税を引き上げた野田民主党は凋落の一途を辿り、12年暮れの総選挙で自民党が圧勝。「悪夢の第2次安倍政権」が誕生する。なんとこの時の選挙に神谷宗幣は自民党から東大阪で立候補したのだ。「吹田市長に立候補する」というアンタの決意は? 安倍晋三は原発再稼働の張本人やないか、「反原発を貫く」と言つていたアンタの信条は? 安倍晋三と並んで演説する彼の映像を見て、「言うことコロコロ変わる。こんな人物は信用できない」と、ここで彼の正体に気づいた。

## そのカネはどこから?

選挙結果は維新の西野弘一10万9千票、自民の神谷宗幣5万8千票で大惨敗だった。「もうアイツは吹田に戻つて来られへんで」。知り合いの新聞記者たちも「ヤツの政治生命は終わった」という評価だった。大惨敗を喫して恥ずかし

つたのか、私の事務所を訪れることもなく、音信不通のまま3年が経過した。ところが15年4月、彼は吹田市の府議会議員選挙に立候補するのだ。私の周りで彼を応援する人は皆無だった。結果は維新の杉江友介が4万票のダントツ1位、今回は無所属で立つた彼は1万1千票で6位、最下位に沈んだ。

で、しばらく外に出て散歩しながら太陽光線を浴びる。のどかな農道に選挙の公営掲示板があり、そこにオレンジ色の参政党ポスター。「定数1の三重県、絶対に勝てるはずがないのにな。選挙資金はどこから出てくるんやろ?」。この頃参政党は泡沫だったが、全ての都道府県で候補を立てたので一定の比例票が入り、実際に神谷が比例で当選。「金で買ったような1議席」だった。

## ネットウヨ親父と子育てママ

2015年から20年まで彼が何をしているか関心もなかったし、ほぼ忘れかけていた。

## コロナ禍、反ワクチンで支持増やす

20年4月、彼は参政党の創始者としてボードメンバーに名を連ね、事実上の代表者になる。そして22年7月の参議院選挙、「オレンジヤーの一員」として比例代表に立候補。覚えてゐるのは3回目のワクチンを打った翌日の三重県での講演。近鉄特急に乗って伊勢市に向かうのだが、寒くて寒くて仕方がない。車掌さんに「冷房を止めてください」とお願いするも、聞いてもらえず震えながら会場に到着。ホールも冷房が効いているの

今回の選挙で参政党は大躍進する。神谷たちの街頭演説の特徴は、日の丸を掲げたネットウヨ親父とベビーカーを押すママさんが同居していること。コロナ禍で反ワクチン運動が起きて、さまざまな陰謀論が噴出。この3年間で食の安全に敏感な女性、子育て層の不安を煽り、デマを流して、支持を取り込むことに成功していた。さらに安倍晋三亡き後の岩盤保守層、およそ500万票が自民党から離れて行き場を失つていた。昨年の総選挙では国民民主の玉木に流れた岩盤保守票は、参政党という受け皿を得た。今回比例で参政党は740万票を獲得、立憲民主を抜いて自民、国民に次ぐ3番目の得票だった。なぜこんな結果になつ



議員になってから、さらに独裁性が強まったと言われている

たのか？詳しくは路上のラジオ第244回、関西学院大学の富田宏治教授との対談をお聞きいただきたい。

## ロスジェネ世代に突き刺さる

「日本人ファースト」というところでもないヘイトスピーチがなぜ支持されてしまったのか？この背景の一つに「ロスジェネ世代の怒り」がある。40代、50代の世代は、就職氷河期と言われた厳しい経済状況の中で、非正規や派遣に甘んじてきた。今までは「自己責任」と言われ、あきらめていた自身の境遇、「実は他に原因があるのではないか？」と、政治に無関心で

はいけないと思いはじめた。そこに「悪いのは外国人だ」のスローガンが刺さった。

実は「悪いのは自民党政権」であって、給料が上がらないのは外国人労働者のせいではなく、「小泉・竹中改革で労働者が非正規雇用されてきた」からである。物価が高い、インバウンドが高いラーメンを食べていて腹が立つ、という表層的な見方ではなく、アベノミクスの失敗で日本だけが円安になった、「連合」がストをしないので、日本だけが賃金が上がっていない、諸外国では2千円のラーメンが当たり前だ。という事実には気が付かない。

## 維新の次は参政党退治だ

残念ながら多くの人が神谷宗幣のデマに騙されてしまった。しかし参政党のメッキが剥がれる日は近い。今後は彼のデマはもちろん、独裁性とパワハラ体質、政治とカネ問題などが文春砲、報道特集砲、赤旗砲などで暴露されていくだろう。正直「維新が終わったかと思えば、次は参政党か」と暗い気持ちに襲われるが、あきらめず、このラジオでも追及していきたい。引き続きのご愛聴をよろしくお願いします。

## 今回の選挙で繰り返されたデマ発言(ごく一部)

- 1 ガンは戦後にできた病気です (神谷宗幣)
- 2 「日本人ファースト」は選挙のキャッチフレーズ。選挙が終われば、差別を助長したりしません。(神谷宗幣)
- 3 沢山の仲間が共産党員により殺害され、殺害方法も残虐であり、今だに(原文のまま)恐怖心が拭えません (初鹿野裕樹)
- 4 「(選択的夫婦別姓は)日本の治安を悪くする」(神谷宗幣)
- 5 「核武装が最も安上がり」(さや 選挙後は 塩入清香)
- 6 「外国人からは相続税が取れない」(神谷宗幣)

### 真相は

- 1 3千年頃のエジプト、ミイラに癌の痕跡があります。そもそも癌という漢字は江戸時代から使われています。
- 2 自ら「選挙の時だけ」差別を助長している」と認めています。
- 3 共産党神奈川県委員会が名誉毀損で刑事告訴しています。
- 4 何の根拠もありません。この意見がSNSで90万回も再生されています。
- 5 核兵器は維持管理の費用が最も高く、人類とは共存できない兵器
- 6 国籍に関わらず支払わねばならない(国税庁)

## 編集長より

生物は、何十億年の歴史の中でいつの時代も、上手く環境に適応しながら進化してきました。適応するとは、まずは受け入れ、しなやかに変化することだと思えます。そういった意味では、受容することとは命をつなぐ第一歩、生きる営みの中心にあると言えるそうです。

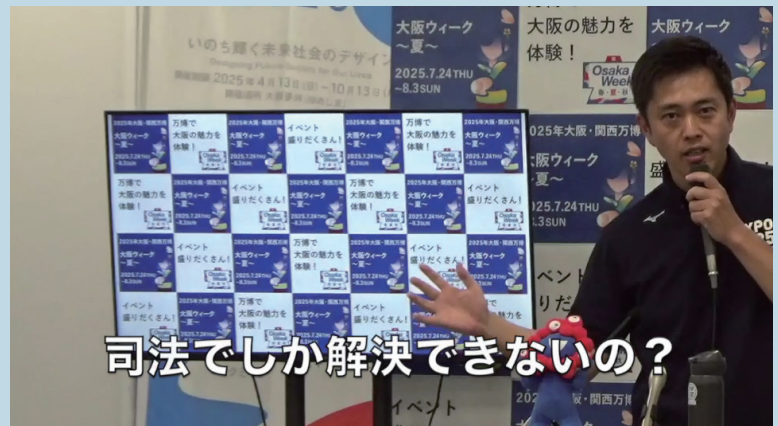
しかし、高度な知能と複雑な感情を携えたヒトは今、この単純かつ根源的な生物の営みを機能として失いつつあるのかと思うほど、粗暴な社会を形成しています。同じ生物同士が大量に殺し合う、傷つけ合う社会とは何なのか。米大統領や東京都知事、今般の参院選においても新興政党のリーダーが好んで口にする「〇〇ファースト」という排外的風潮には、強い違和を感じざるを得ません。そもそも人間は自身が一番大切なんだと思うのは当たり前。その現実には

おいてどう折り合いを付けるのか、豊かな知性をもつ人間ならではの課題解決であり、それが政治で言えば政策なのではないでしょうか？そういった意味で「〇〇ファースト」とは、たいそう未成熟な論点でしかないように私には思えます。

今の社会に閉塞感を感じ、同じように心を痛めている方は少なからずいると思うのですが、そういった方々にぜひ「路上のラジオ」を聴いていただきたいと願います。対話をし、互いに許し合い、引き受けられることは引き受ける、そんな生き物の社会へ少しでも原点復帰できるよう、ご一緒に知恵を借りませんか？これからも「路上のラジオ」をどうぞよろしくお願いたします。

(ディレクター・山本 素)

## 万博未払い問題を追及する



7月29日大阪府庁の定例記者会見にて

吉村知事の記者会見、早くから手を挙げるが当たるのはいつも最後。主に万博の未払い問題について聞く。愛地球博や東京オリンピックでは未払いゼロ、万博では9カ国のパビリオンの下請け19社、500人以上が倒産、破産のピンチにある。「もう間に合わない」。大手ゼネコンが逃げたので、吉村知事自身が中小企業にお願いしたのが昨年10月。意気を感じた職人たちが24時間で泊まり込み、監視カメラ付きで頑張った、その結果が「万博倒産」。こんな理不尽な話ある？このまま放置されれば10月終了時点で、外国の元請け業者は逃げていくだろう。「民・民の問題ですから」と知事は動かない。恩を仇で返すってこのこと。引き続き追及します。

## 編集後記

You Tubeの問題点は「ウソでもいい、キャッチーな音楽とコピーで2～3分の動画を回せば回すほど儲かる」という仕組み。ではどんな動画が回転するのか？ 答えは不安をおおるものと下ネタである。「ハイチからの移民が犬や猫を食べている」(トランプ)は、難民・移民の排斥を唱える人々の票を獲得し、「元県民局長が不倫」(立花孝志)は、異様な回転数を記録して斎藤知事再選の原動力になった。そしてついに「外国人が集団を作って万引きをしている」(神谷宗幣)という排外主義者が台頭してきた。かなりヤバイ状況。気を引き締めて反撃せねばならない。今の気持ちは、ミニコミラジオだが「やると言ったらやり切る」(公明党か！笑)